

自然災害への備えはできていますか？

地震、ハリケーンと台風、竜巻、津波、山火事、洪水—近年、これらの災害のすべてとこれら以外の自然災害のニュースを目にしてきた。これらの大災害はすべて、直接的に甚大な損害をもたらす。また、これらが危険物質の貯蔵やプロセス設備に及ぼす影響により、さらなる損害を引き起こす可能性がある。自分のプラントで起こりうる自然災害にどのようなものがあるかを知っていますか？これらの災害に備えるためにすべきことは何か、そして、災害のあとどのようにして復旧するか知っていますか？

- 1- 2011年3月11日東日本地震の後の精油所の火事；
- 2- オクラホマの竜巻；
- 3- カルフォルニアの山火事；
- 4- 2011年3月11日の地震後の福島原子力発電所の損傷



知っていますか？

2010年の「自然災害とのつきあい」という報告書で、世界最大の損害保険会社の一つであるFM Globalは、組織が自然災害への備えに失敗するいくつかの理由について論じている。調査で明らかになったことの中には以下のようなものがある。

- ➔ 人は自然災害のリスクを過少評価する—「ここでは起こらないだろう」と考える。
- ➔ 災害なしに時が経つと、その災害が起こる可能性を否定するほうがより気楽だと思ってしまう。
- ➔ 企業は、自然災害への準備は十分だと過大評価する。
- ➔ 多くの企業は損害を最小にするための事前活動よりもむしろ災害からの復旧に焦点を合わせている。

あなたにできること？

- ➔ 自然災害が自分のプラントに直接及ぼす影響と更に、その災害で引き起こされる用役の停止の影響を理解すること。
- ➔ 災害に対するプラントの緊急時計画を見直すこと。計画が理にかなったものであることを確認すること—有効に利用できる時間と資源のもとで必要とする作業を現実に行うことができるか？ 問題を発見したならば、その懸念を上司に伝えること。
- ➔ 自然災害とその余波に対応すべく準備、使用される必要のあるすべての設備と身体保護具(PPE)が、利用可能であり、適正に保全され、すぐに使えることを確認すること。
- ➔ 自然災害への備えと対応訓練に参加し、本気で習得し、且つ、訓練中に見つけた問題は、いかなるものでも報告すること。
- ➔ www.fmglobal.com/disaster からFM Globalの報告をダウンロードして読むこと。

“少しの予防は多くの治療に相当する” – ベンジャミン フランクリン